

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2004年10～12月期)

第35回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成16年7～9月との比較）
  - （2）前年同期比（平成15年10～12月との比較）
  - （3）来期見通し（平成17年1～3月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	202社
回答率	40.4%
(業種別)	
製造業	76社
建設業	42社
卸売業	22社
小売業	32社
サービス業	30社
合計	202社

## (2) 実施時期

平成16年10～12月期（平成17年1月に実施）

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 " ) - (悪化 " )

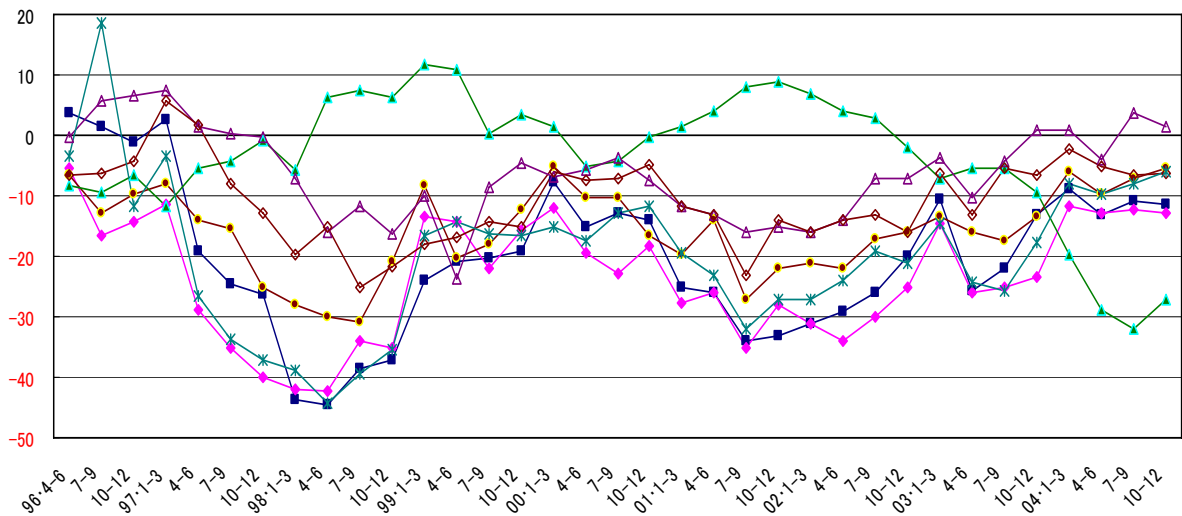
資金繰りD I = (好転 " ) - (悪化 " )

仕入価格D I = (下落 " ) - (上昇 " )

雇用状況D I = (不足 " ) - (過剰 " )

設備投資D I = (拡大 " ) - (減少 " )

業況D I = (好転 " ) - (悪化 " )



前年同期比 (全企業D I の推移)

	02/4-6	7-9	10-12	03/1-3	4-6	7-9	10-12	04/1-3	4-6	7-9	10-12
■売上	-28.5	-26.2	-20.2	-10.7	-25.6	-22.0	-13.1	-8.9	-13.2	-10.8	-11.3
◆採算	-33.8	-29.9	-24.8	-14.7	-26.0	-25.0	-23.4	-11.7	-12.8	-12.2	-12.7
●資金繰り	-21.5	-17.0	-16.3	-13.3	-16.1	-17.4	-13.5	-6.1	-9.6	-7.0	-5.4
▲仕入価格	4.3	3.0	-2.3	-7.1	-5.4	-5.5	-9.4	-19.7	-28.8	-31.9	-27.0
△雇用状況	-13.6	-7.4	-7.4	-3.6	-10.3	-4.2	0.8	0.9	-4.1	3.8	1.5
◇設備投資	-14.2	-12.5	-16.3	-6.2	-13.2	-5.5	-6.6	-2.3	-5.0	-6.6	-6.4
*業況	-23.5	-19.2	-21.3	-14.7	-24.4	-14.8	-17.6	-8.0	-9.6	-8.0	-5.9

### 3. 概況

「年末需要で前期比は改善するも、来期見通しは厳しい」

#### (1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、前期に相次ぐ台風上陸という特殊要因があったことに加え、今回は年末需要期でもあり、小売・卸売・サービス業が大幅に好転した。

前年同期比は、前期比同様の数値となった。製造業がマイナスに転じ、公共事業縮小が続く建設業が足を引っ張る形。小売・サービスは数値的には回復をみせたが、消費低迷・厳しい競争という状況は変わらず、大きなマイナス値となっている。

#### (2) 来期の見通し

今期が年末需要期であったためか、その反動で来期の見通しは、製造業以外は悪化を予想している企業が多い。公共工事の縮小が続いている建設業以外にも小売・サービス業の見通しが厳しく、調査対象企業は県内の消費の本格的な回復を感じていないものと思われる。

原油価格の高騰により、このところ上昇している「仕入価格」については、厳しい数値ながらも悪化に歯止めがかかった感じになっている。

#### (3) 経営上の問題点

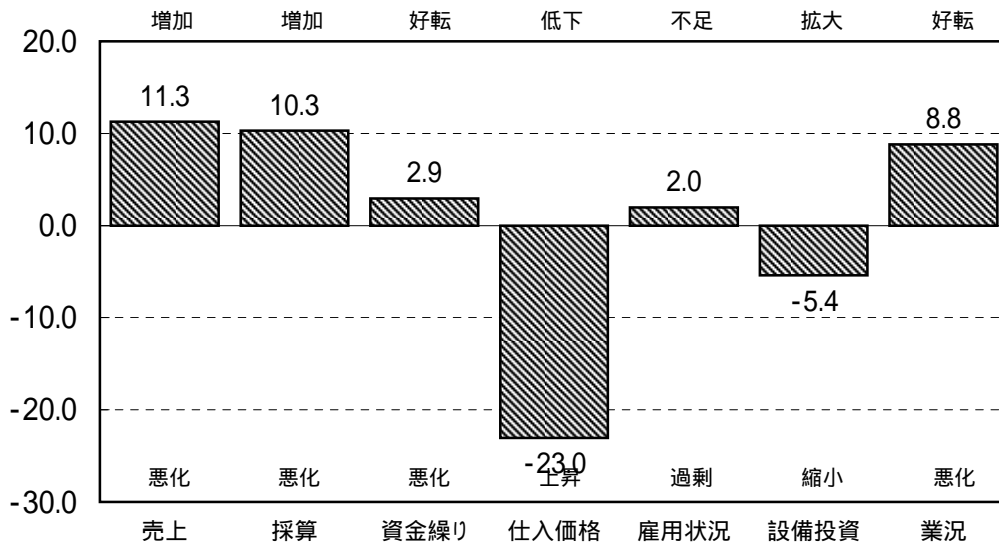
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的1位で、2位が「製品（販売）単価の低下・上昇難」となっており、長引く消費の停滞による景気低迷が続いている模様。3位に「原材料価格の上昇」となっている。

#### (4) 今後の対応策

今回も、1位に「新規市場を開拓したい」が踊り出て、「その他合理化を実施したい」が2位に後退。3位には「新製品の開発を行いたい」と前向きな意欲が感じられた。

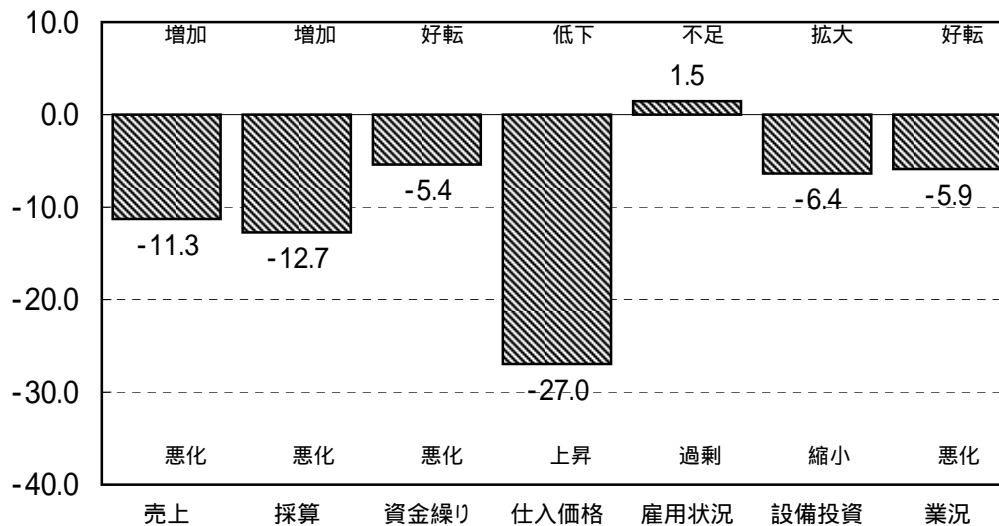
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前年比(平成16年7～9月比)



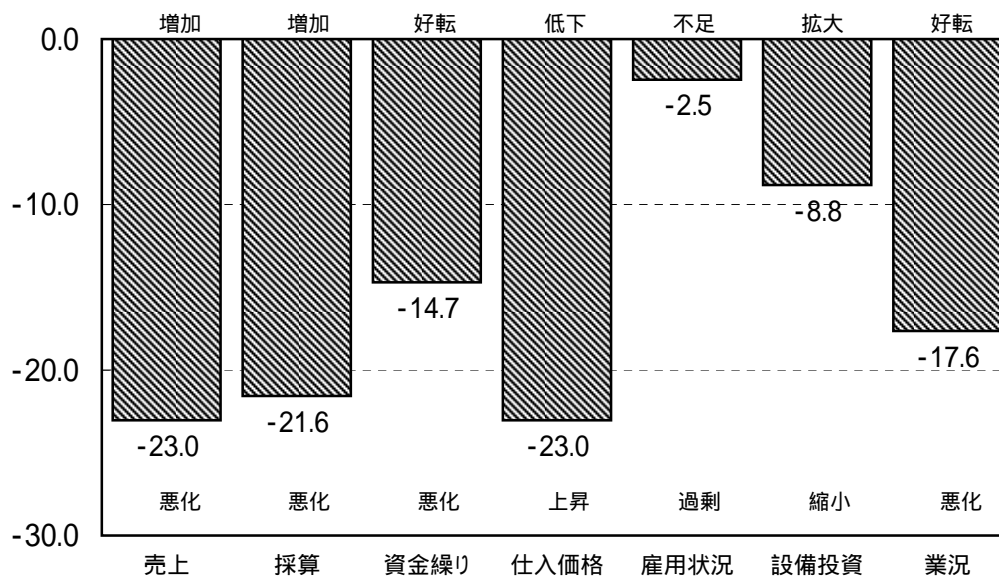
前期比のDI値は全業種改善をみせた。これは、前期に立てつづけて台風が上陸した特殊要因があったことに加え、今期が年末需要期で、小売、卸売、サービス業が好転したことに起因するものと思われる。

前年比同期比(平成15年10～12月比)



前年同期比のDI値は、前回調査とほぼ同じ数値であった。製造業がマイナスに転じ、公共事業縮小が続く建設業が厳しい。小売、サービスは回復をみせたが、消費低迷、厳しい競争は変わらず、大きなマイナス値となっている。

来期見通し(平成17年1～3月見通し)

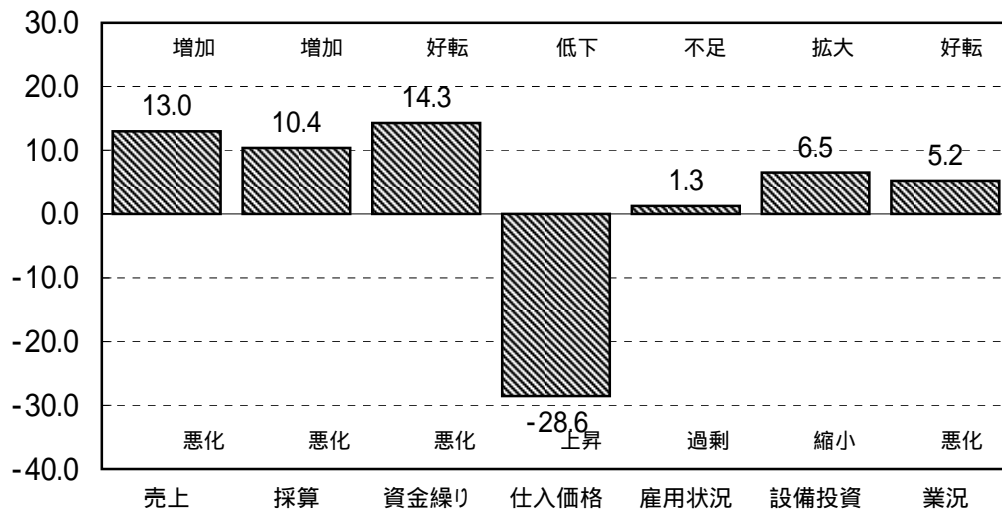


来期見通しは、今期が年末需要期であったためか、その反動で製造業以外の業種は悪化を予想している。特に、小売・サービスが厳しく、調査対象企業は、県内消費の本格回復を感じていないものとみられる。

## 5. 業種別の景気動向

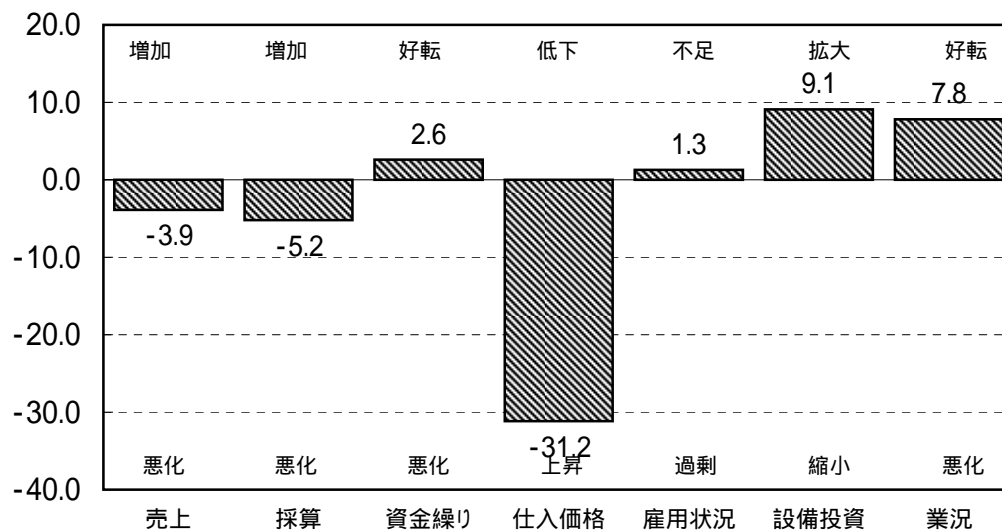
### (1) 製造業

前年比(平成16年7～9月比)



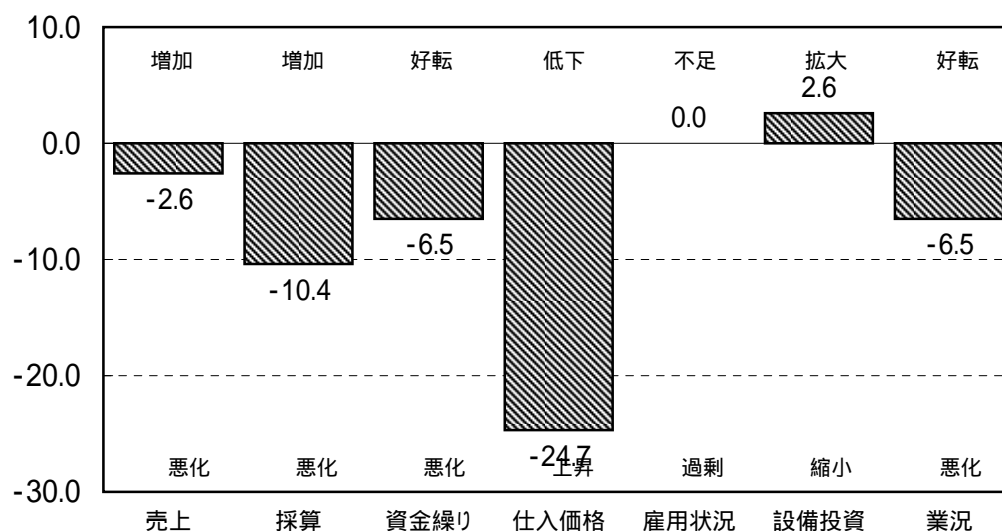
「季節的要因」(飲料製造)、「パソコン普及による仕事減」(印刷)もあるが、「スマトラ沖地震で国内材へ」、「自動車業界の設備増強」、「IC関連の需要増」、「焼酎の好調」で、売上・採算は好転した。

前年比同期比(平成15年10～12月比)



「工作機械業界の好調」、「鉄鋼業景気の上昇」、「半導体設備の新設」等プラスの声も聞かれるが、「住宅ローン控除の縮小」、「原材料の値上がり」、「官公庁のペーパーレス化」などで、DI値は悪化した。

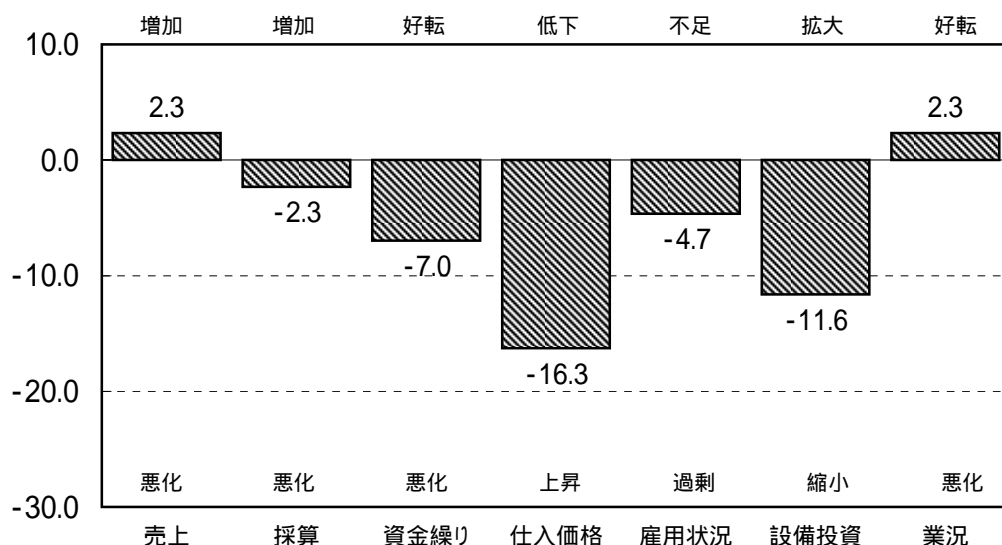
来期見通し(平成17年1～3月見通し)



「年度末需要に期待」、「県外は好調だが、県内は限界」や「ほぼ業況が変わらない」、「受注見通しは横ばい」、「良くなったといってもほんのわずか」等にあらわれているように、DI値は前回調査とほぼ同じ数値となった。

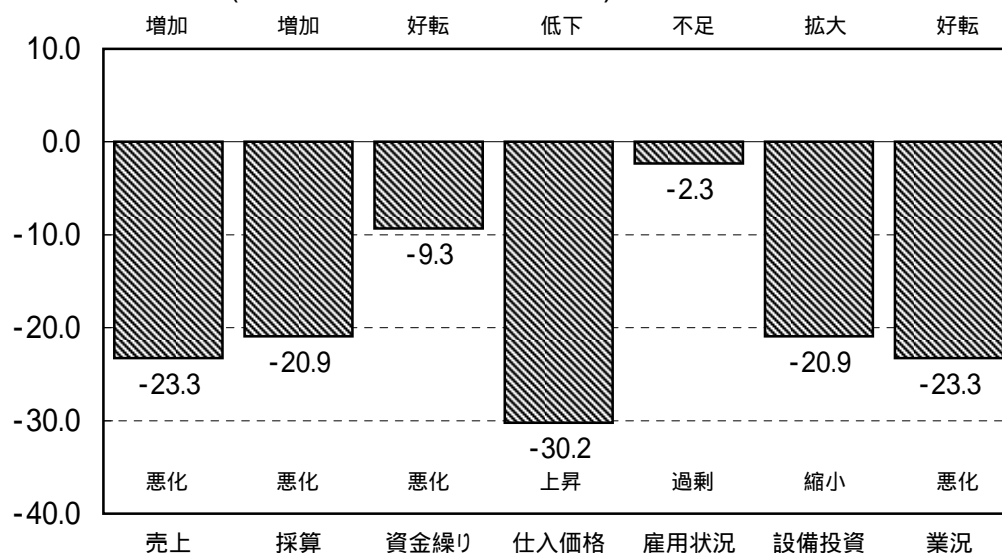
## (2) 建設業

前年比(平成16年7～9月比)



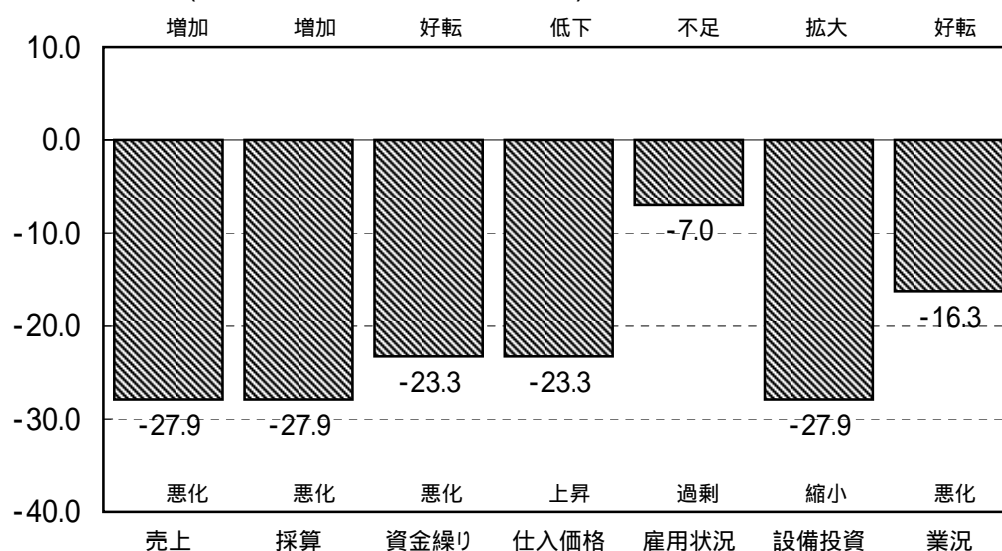
公共工事が縮小している中、業況を「不変」、「前期と同じ」との回答が多い。そのような状況の中、一部完工した工事や台風災害復旧工事のあった企業もあり、前回調査よりも若干好転した。

前年比同期比(平成15年10～12月比)



公共工事減 仕事量減 競争激化 利益減の傾向は変わっていないようだ。一部企業の好転ではカバーしきれず、DI値は前回調査よりやや悪化し、今だマイナスと低迷を続けている。

来期見通し(平成17年1～3月見通し)

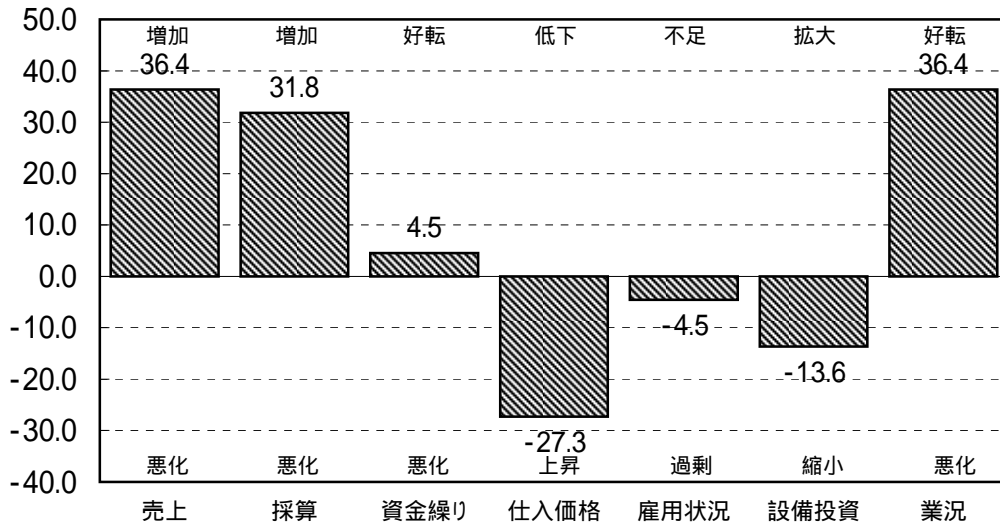


好転を示すコメントが圧倒的に少ない。「ほとんど変わらない」、「不変」、「見通しがたたない」という声に加え、公共工事の減少、大手企業の地方進出、による競争激化で、年度末ではあるがDI値は引き続き大きくマイナスとなっている。



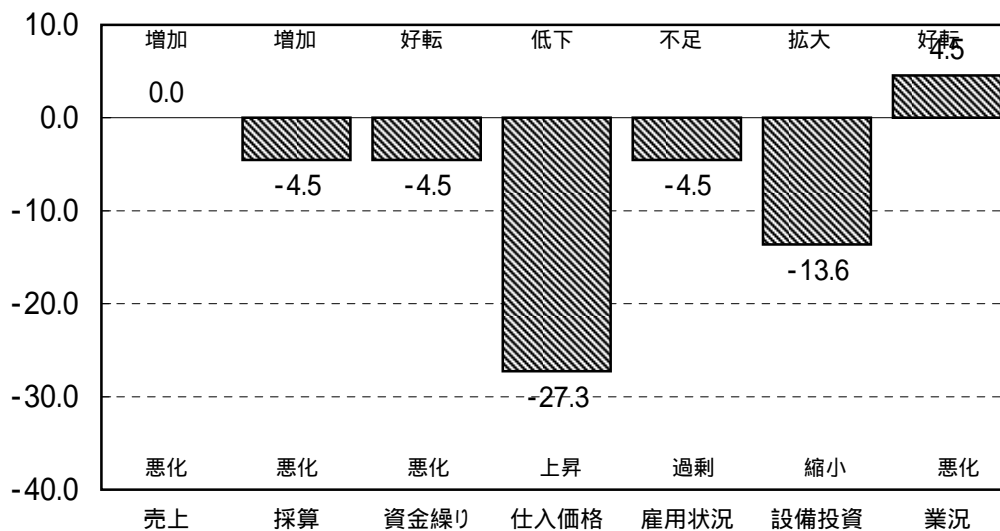
### (3) 卸売業

前年比(平成16年7～9月比)



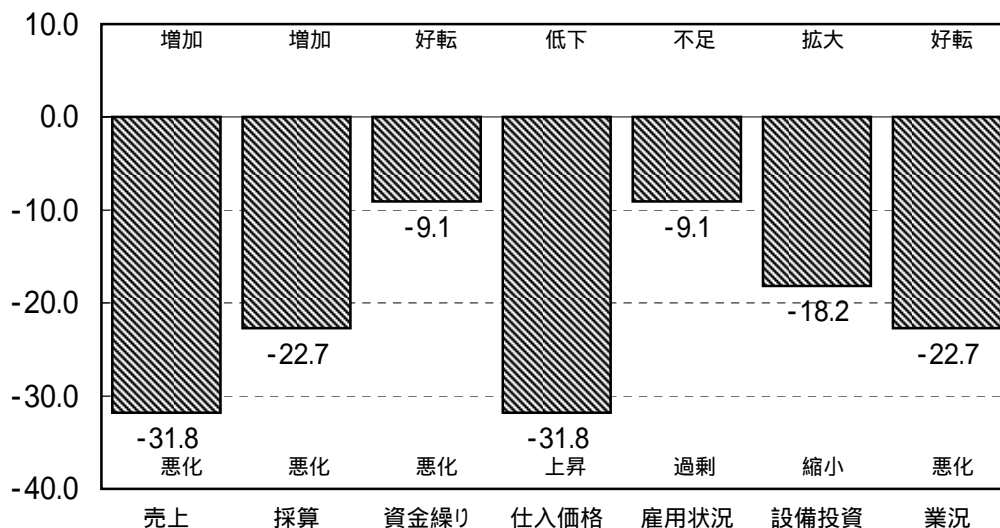
「秋の需要期」(紙文具)、「季節的要因」(業務用食料品)、「歳暮時期」(食料品卸)、「(台風による)野菜高騰で売上増」(青果卸)、D I値は前回調査を大幅に上回り、売上・業況は高い数値を示した。

前年比同期比(平成15年10～12月比)



「台風の影響で売上高・仕入高との増加したが、利幅がとれない」(青果卸)などに聞かれるように売上増だが仕入価格上昇で採算悪化の傾向がみられる。ただ、一方では、業況は前年比で好転をみせた。

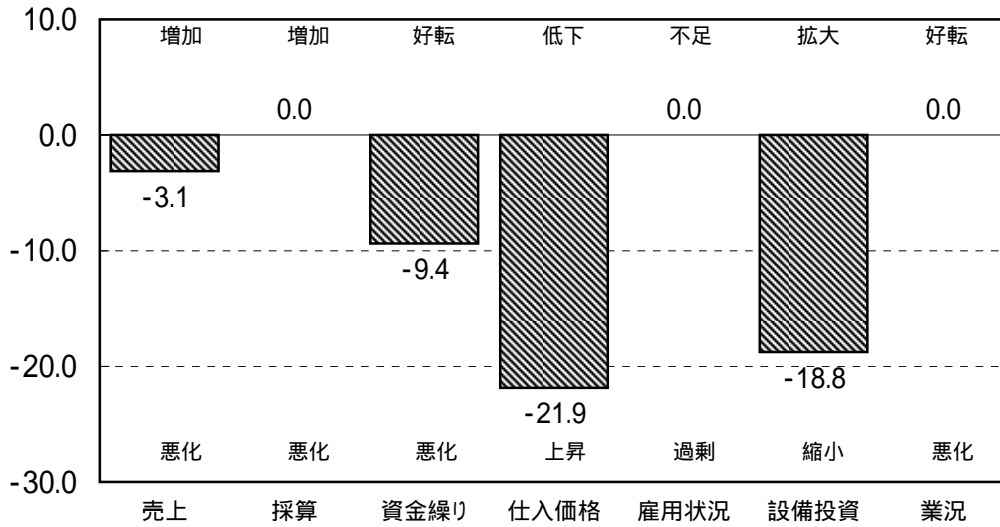
来期見通し(平成17年1～3月見通し)



「1、2月は例年落ち込む」(紙文具事務機卸)、「県内需要減少」(鉄鋼卸)、「業況的に厳しい」(機械工具卸)、「原材料高騰」(建築資材卸)と年末需要に沸いた今期から一転、D I値は大幅な悪化を予測している。

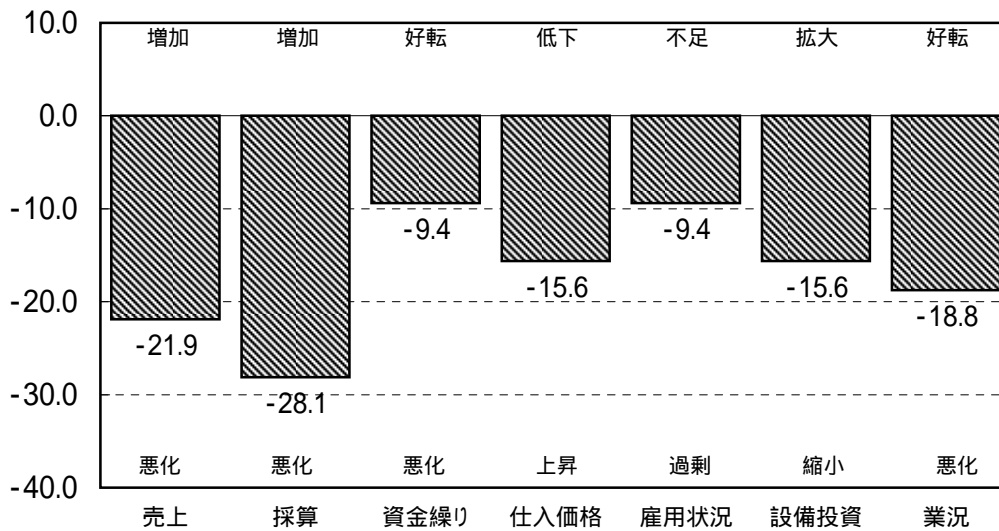
#### (4) 小売業

前年比(平成16年7～9月比)



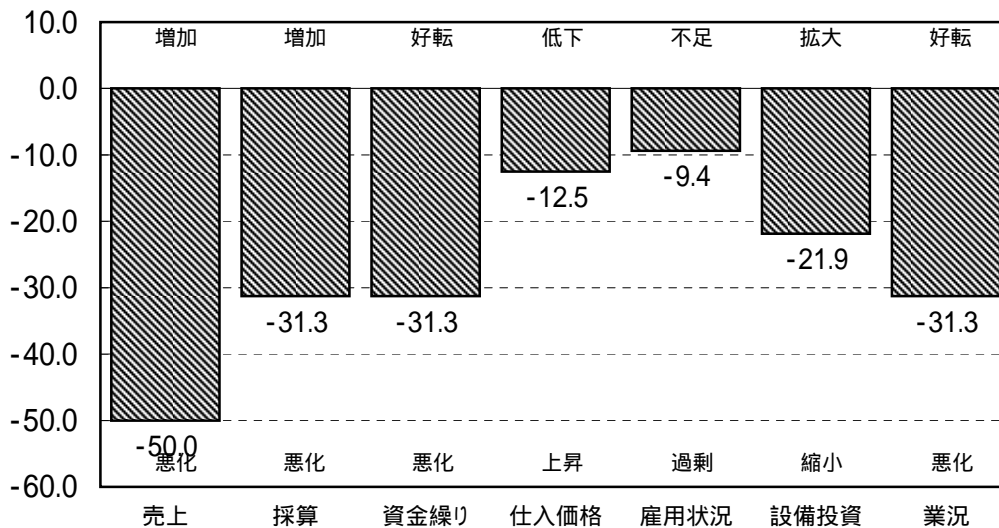
「消費者が本当に必要なものしか買わなくなった」(日用品雑貨)等消費は低迷しているが、今期は年末需要のお陰で、売上・業況・採算は、前回調査より改善している。

前年比同期比(平成15年10～12月比)



「(社会保険等の負担増による)可処分所得の減少」(総合小売)、「民間企業の買い控え」(事務機)と引き続き消費低迷が続いている模様。「若干上向いたか?」(酒類)、「個人の消費額が増」(観光土産)で若干回復したものの、DI値は大きくマイナスのまま。

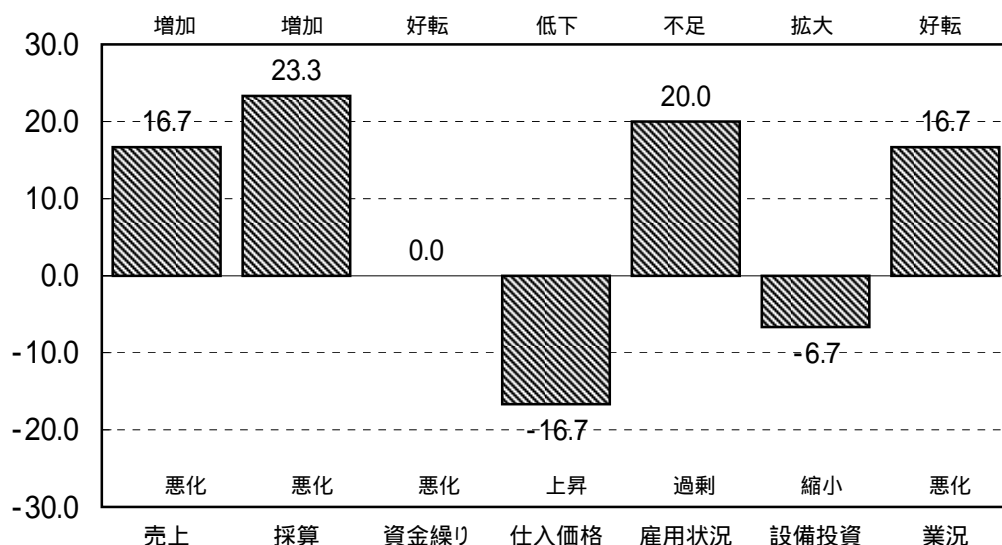
来期見通し(平成17年1～3月見通し)



「仕入高の価格転嫁が進む」、「仕入価格の値上げはない」(燃料関係)との声も聞かれるが、「購買心理に好転の兆しなし」、「県外競合店の出店」と消費低迷、競争激化は変わらず、全業種中最も悪いDI予想値を示している。

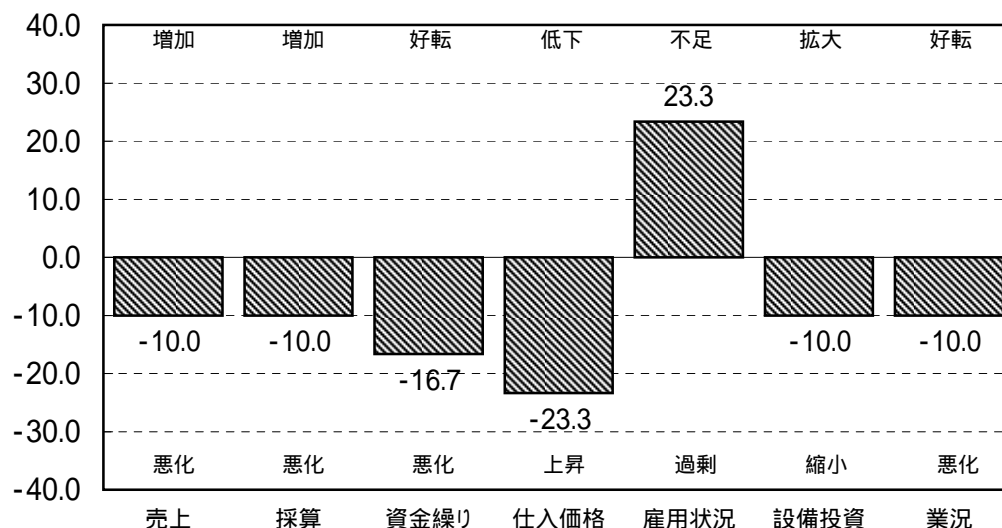
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前年比(平成16年7～9月比)



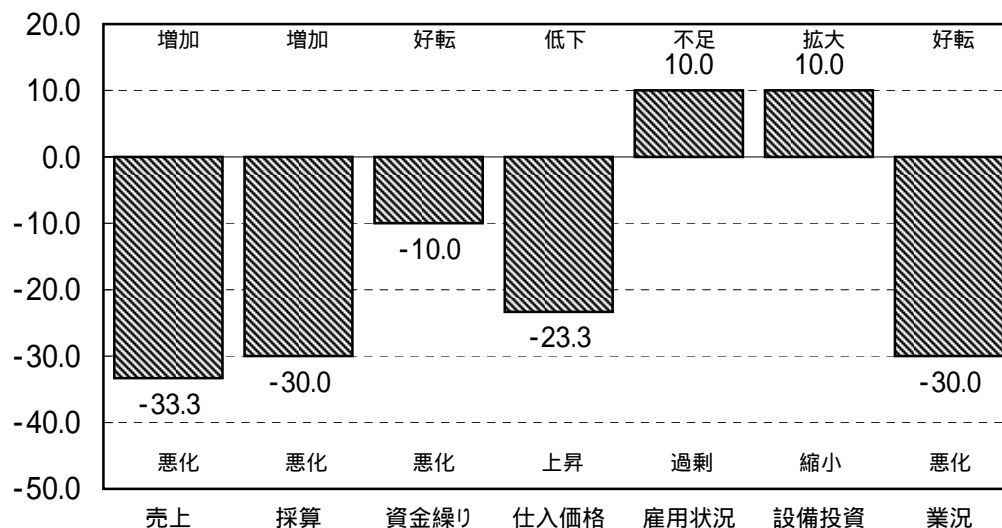
前期比D I値は前回調査より大幅に改善した。ホテル・レストランが前期に台風、運送業が燃料高の影響を受けたのに比べ、今期は年末需要や原油価格の落ち着きによるものと思われる。

前年比同期比(平成15年10～12月比)



「九州新幹線の影響で客足が鹿児島方面へ」、「韓流ブーム」(宿泊関連)など他地域との競争激化。「県外大手企業は好調」と県外の景気回復の恩恵を受けている企業もあり、D I値はマイナスながらも前回調査より好転している。

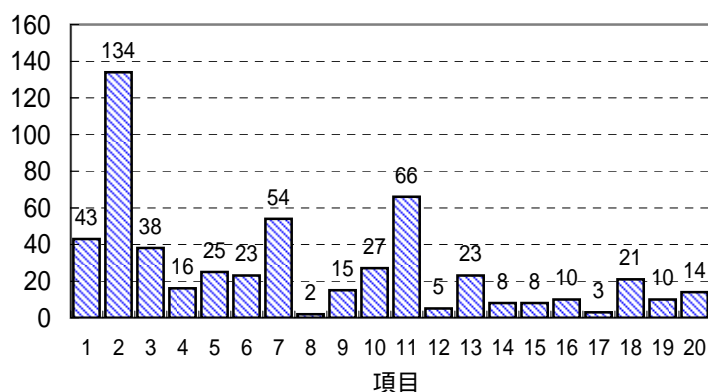
来期見通し(平成17年1～3月見通し)



いつもならば、プロ野球を始めとするキャンプの恩恵で好転する時期ではあるが、「2月以外は予約状況が良くない」と宿泊関連業は厳しい見方。「燃料コスト高止まり」(貨物運輸)、閑散期の業態もあり、前回調査より大幅に悪化をみせている。

## 6. 経営上の問題点

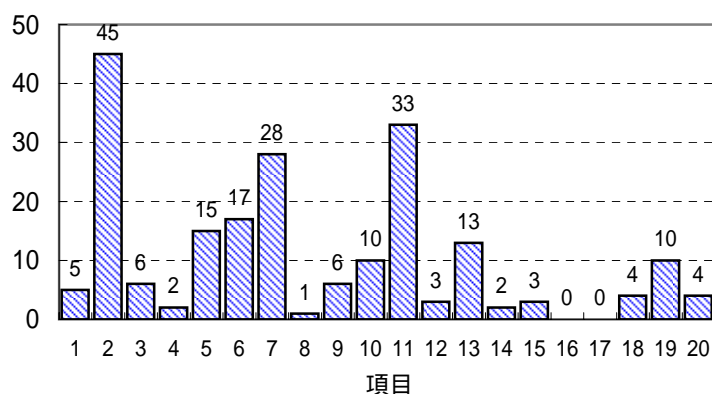
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

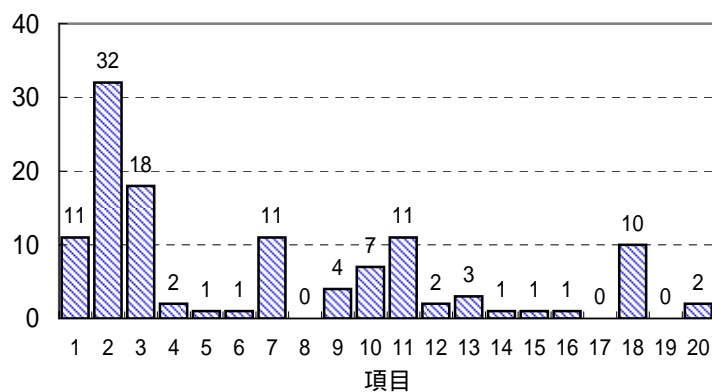
製造業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



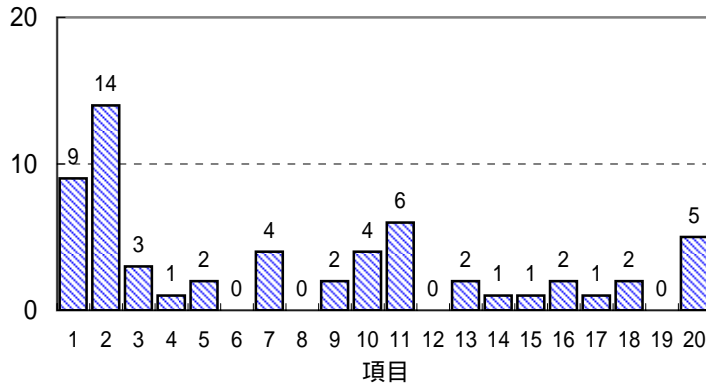
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

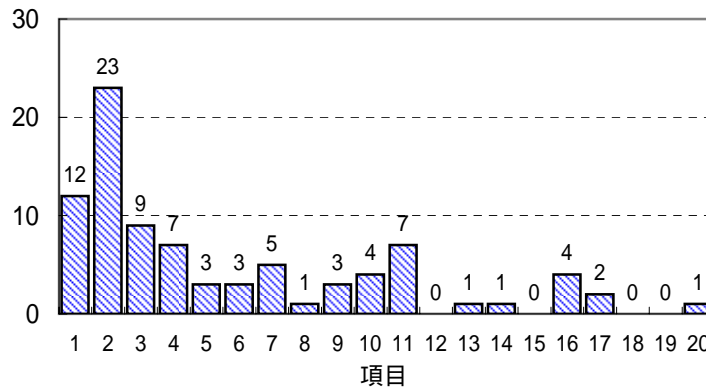
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 代金回収の悪化
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

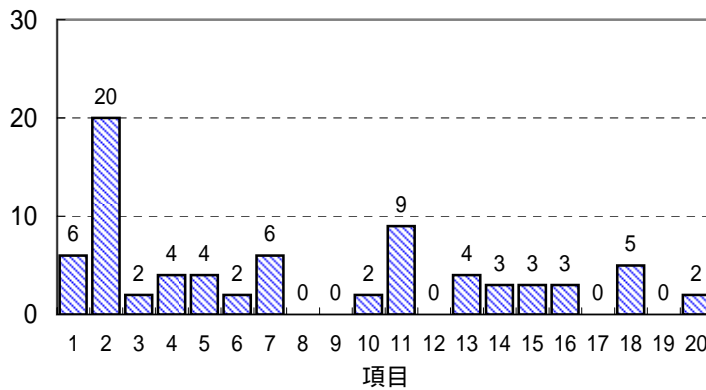
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

### サービス業



#### 順位

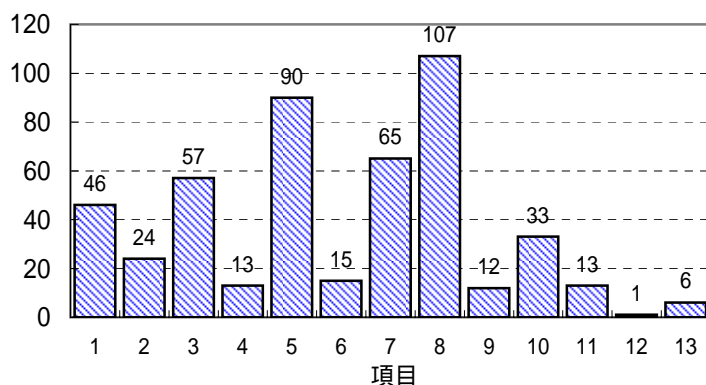
- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 取引条件の悪化

#### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

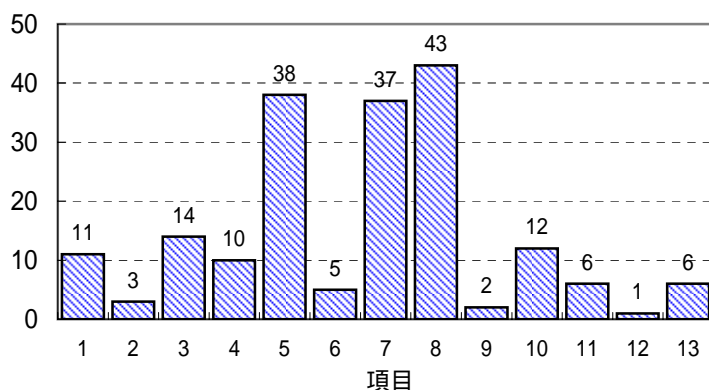
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

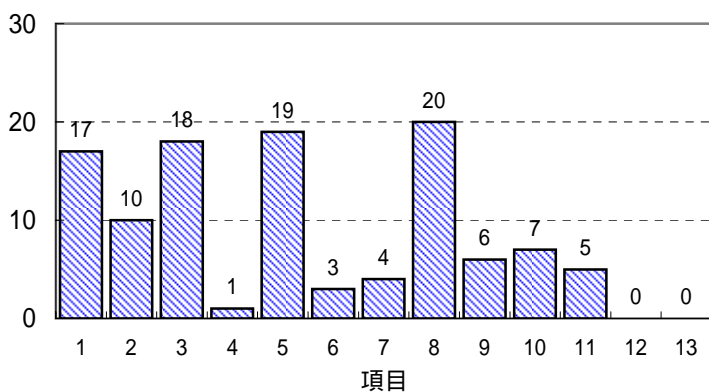
製造業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



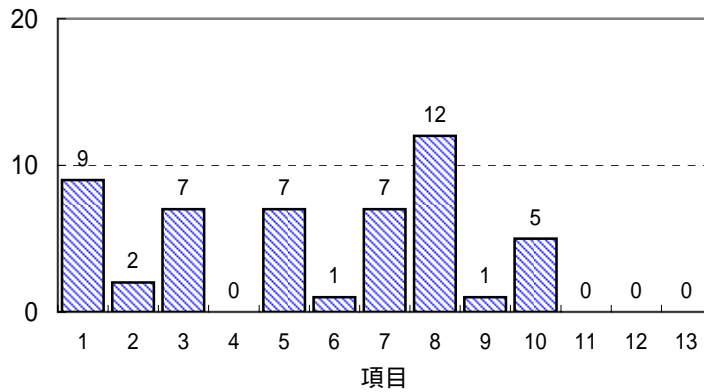
順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 雇用調整を行いたい

### 項目一覧

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい                | 2. 雇用調整を行いたい (1を除く)   |
| 3. 人件費を削減したい                  | 4. 生産調整を行いたい (操業短縮など) |
| 5. その他の合理化を実施したい (製造工程の簡素化など) |                       |
| 6. 設備投資を縮小したい                 | 7. 新製品の開発を行いたい        |
| 8. 新規市場を開拓したい                 | 9. 業種転換を行いたい          |
| 10. 経営の多角化を行いたい               | 11. 下請け発注を減らしたい       |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい              | 13. 海外から原料・部品を調達したい   |

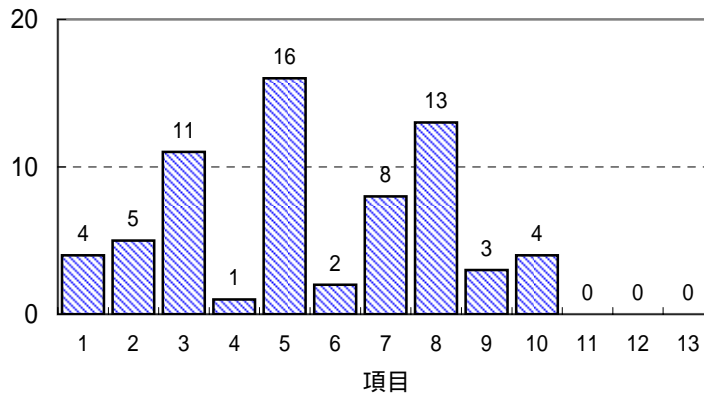
## 卸売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 新規採用を見合わせたい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

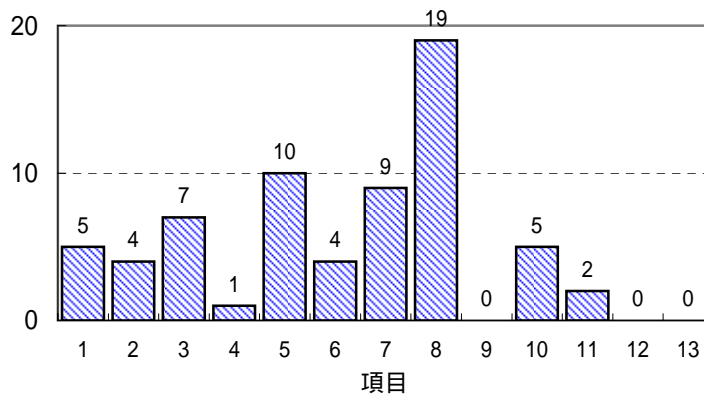
## 小売業



### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい

## サービス業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

## 項目一覧

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい                | 2. 雇用調整を行いたい (1を除く)   |
| 3. 人件費を削減したい                  | 4. 生産調整を行いたい (操業短縮など) |
| 5. その他の合理化を実施したい (製造工程の簡素化など) |                       |
| 6. 設備投資を縮小したい                 | 7. 新製品の開発を行いたい        |
| 8. 新規市場を開拓したい                 | 9. 業種転換を行いたい          |
| 10. 経営の多角化を行いたい               | 11. 下請け発注を減らしたい       |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい              | 13. 海外から原料・部品を調達したい   |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	電機部品製造業	都城	調査を半期に一度にして頂きたい。
製造業	製材業	都城	宮崎を元気にして欲しい。
製造業	製材業	都城	民事再生法で安易な救済によりいつまでたっても、公正な競争が行えない。努力している所を伸ばしてもらおうべきである。
製造業	封筒の製造販売	都城	地方経済活性化の対策を行政にお願いしたい。
製造業	アルミ製品製造業	都城	・例) 都城文化ホールで地元業者に発注されている職種が少ない。行政の受注の際のかけ声のみ。(議会を含めて)
製造業	一般機械器具製造業	都城	・都城市に誘致企業を多く集める。・Uターン、Iターン者を広く掲示に多くの企業に紹介する。(技術者が不足している。)
製造業	金属製品製造業	宮崎	鋼材、石油製品は、資材の高騰により採算は悪化している。何らかの行政指導や支援を期待したい。
製造業	輸送機器製造業	宮崎	法人税率の引き下げ、 中小企業育成施策の強化
製造業	化学品製造	延岡	自助努力の不足を痛感
製造業	木工所	延岡	好況時より、業績は大幅に削減しここ数年低め安定である。今後、経済状況が上向きになっても、地方の大部分の業種が好況時の水準で回復するとは思えない。特に贈答品用木箱製造業は包装資材に対する特需の変化及び贈答品の縮小廃止の傾向が定着している。兼業他業種、系列企業への事業転換等で業績の維持及び従業員の配転をして企業の存続に努力をしている。
製造業	各種自動機械設計製作	日向	中小企業の活性化対策を希望します。
製造業	種鶏業	日向	経営上の問題点は多くは見当たらないが将来を見据え、コストダウンは常に努力しなければと思っている。上記を達成するため設備の更新と自らを含めた社員意識の高揚(社員教育)が必要と考えます。要は内からのミスを最小限にする事が課題です。
製造業	コンクリート製品	日南	県北、県外地区の災害特需的なものが若干あり、売上は微増しました。但し、県南2市2町はさっぱり駄目です。今後も県央、県北、県外の需要開拓に頼るしかない状況にあります。
製造業	製材、集成材	日南	日本の山を国が守らないと誰が守るのか!
製造業	金属加工業	日南	上半期よかったものの、下半期の落ち込みにより年間を通しての結果がどうなるか予想が立たず。意外に早く景観が悪くなっているし、実際の数字も悪い。
製造業	半導体関連装置製作、配管工事	日南	現況を出しておりますが、何かプラスになることが文章形式でわかるのかと疑問であります。時間の設定可能な限り現地視察するか、経営者との対談が必要であると思います。
製造業	産業用CCDビデオカメラ製造	串間	景気対策で行政に望むところはない
製造業	焼酎製造販売	串間	この3ヵ年で倍の生産を行なうべく設備投資を行い業績の伸長(対前期比150%)達成しているが、まだ需要に充分応じ切れず、更に造りの増産体制を計画中である。
建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	緊縮財政の中で、難しい面もあるとは思いますが、中小企業への補助をもっと考えていただきたいと思ひます。
建設業	電気設備工事	宮崎	日本経済全体が活性化するような政策が必要。社会保険料、労働保険料、諸税等の軽減(現在の世の中、全て国民負担増の政策では良くなるものもよくならない)。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	GDPが3期連続して減少しており、個人消費が振るわないという内閣等の発表に景気回復はどこへ行ったんだと落ち込む。それでも、竹中大臣は、回復が続いているとの見方を示す。正しく景気判断をして、対策をとって欲しい。先行き不透明だから個人消費が伸びないと思うのだが。



建設業	建築設計監理	宮崎	官庁関係の設計報酬が下がって設計業界は厳しい経営に直面している。国・県は告示の設計報酬基準を遵守して報酬料算出の見直しを欲しい。また、入札において低価格入札が横行しており、建築の質の低下を招くことになるが、最低制限価格を設定して欲しい。
建設業	管工事水道施設工事	宮崎	異業種に参入します。
建設業	建築工事業	宮崎	地方自治体の財源確保のための施策、国庫補助事業にみならず地方単独事業の推進による中小企業向け工事量の確保を図るようお願いする。中小企業は、同属企業であり、内部留保金は会社の経営基盤の強化は企業競争力をつけるべき必要不可欠なものであり、同属企業の留保金課税は廃止すべき。交際費は経営上必要不可欠な経費であり、企業活動の活性化を図るためにも損金不参入制度を緩和すべきである。
建設業	一般土木建築工事業	宮崎	地方においては、公共事業がなければ成り立たないのでは？
建設業	土木建築工事請負	宮崎	公共工事の発注において工事価格の少額化が顕著になっている。発注官庁の財政上の問題や、多くの企業に受注機械を与えるための施策であると思うが、受注企業の生産性の低下が懸念される。
建設業	建設業	延岡	不況の時代。国、県市町村とも税収が伸びない、ひいては公共投資の予算等の縮小、減額と悪い流れになっている。早く好景気にならないと....
建設業	建設業	日向	公共工事を増やさないと景気は良くなるらない。
建設業	建設業	日向	地方においての景気浮揚の見地からも公共による建築工事発注の促進を商工会議所からも国、県、市に働きかけてもらいたい。(公共工事に比べて建築工事は少ないです。)4137
建設業	鉄骨建築業	高鍋	公共工事の削減に対し、経常JVで対応していく。
建設業	電気工事業	高鍋	大企業重視の景気対策ばかりで、あまりにも許可制度の難しい世界基準(ISO)等の採用で、中小企業が生き残れない。もっと町村合併も積極的に県も推進してほしい。地方が生き残れる様、行政改革をお願いしたい。
建設業	建築工事業(木造含)	高鍋	公共工事の増加
建設業	土木建設業	日南	建設業に関しては、冬の到来であり、協会サイドでは副業として医療、農業、環境分野等への進出をコンサルタントを呼んで薦めているのが果たして効果が上がるのか疑問に思わざるを得ない。思い切った発想の転換が必要ではないかと思えます。
卸売業	総合包装資材の卸売業	宮崎	観光客をいかに導入するか、シーガイアの活性化が最も影響が大きいと思われるが、間地の中心部をいかにして賑わいを呈するようにするか、もっと深刻に考えるべきだと思います。
卸売業	健康食品輸入販売	宮崎	毎回同様なご質問に対し、同様の回答をしなければならないむなしさを感じる。もちろん、自己宣伝において事業に発展に全力を尽くさねばならないが、制度や大きな意味での環境の好転はどうしても政治、行政、また地域の事業者の強いリーダーシップが必要となる。その意味でも、商工会議所の求められる役割は認識以上に大きなものがあることを再検討願いたい。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	政府は外国支援(ODA、イラク支援)より国内支援を。
卸売業	建築資材販売	日向	平成16年12月度より景気は下降していると思う。よくメーカーからの言葉からも裏づけられる。銀行は金融庁の指導が厳しいと常に言っているので貸し出しその他も中小企業(よその企業)も言っている。
卸売業	食品卸売	日向	国の財政状況は企業であればとうの昔に破綻しているにもかかわらず新規のの新幹線を着工する。この国の政治に絶望感を覚えます。次の世代への借金を少しでも減らす施策を政治家には全力投球してもらいたいと思えます。4027
卸売業	食料品卸	小林	新聞テレビで株価の好転が伝えられますが一部大企業の事で、我々の中小企業では消費低迷で大変苦戦している所が現況ではないかと思われま。行政に消費拡大対策をお願いします。

小売業	燃料販売業	都城	電力会社がIHヒータ等の普及の為、建設業やその他電気店に資金を提供し、販路の増加を図っています。産業局より色々指導もあったように聞いていますが、もう少し強力な指導を願います。
小売業	米穀・酒類販売	宮崎	地場産業として本県は農業がメインなので、農業の更なる発展と新規開拓を望むが、遠隔地のため流通コストがかかりすぎる。とにかく、地方経済も持ち直さないと完全に立ち直らないかもしれません
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	環境規制に伴う車両の優遇性を検討してもらいたい(補助金等)
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	土日曜日に橋通を歩く人が少ない(特に午前中)
小売業	全酒類卸小売	宮崎	我々の業界(飲食業界も含んで)ではどうしても交際費の全額みてもらいたいですね。
小売業	建築木材製品販売	日向	運転資金の調達が難しい、保証人をたてるのが難しい、なんとか保証人なしでできないものか。
小売業	総合食料品スーパー	日向	特にございません。
小売業	観光土産、レストラン	日南	個人消費額は増加気味ですが、全体の客数が今ひとつ。特に団体客減少。民官「協業」で活性化必要。国定公園50周年を機に全身を願う
小売業	コンピュータソフトウェア	小林	経営品質で勉強したことを必ず成功するよう、毎日勉強会を開き目標を出すよう努力中です。今後とも宜しくご指導下さい。
サービス業	運送業	都城	景気がゆるやかに上向いているといっているが実感がない。今我々業界は社会との共存性を目指して”安全”と”環境”問題に力を入れているが、スピードリミッターの取付、排ガス規制装置等は経費負担となっている。又高速料金の値引きや軽油高騰等に対する国策をお願いしたい。
サービス業	道路貨物運送業	都城	弊社は、長距離輸送が営業主力ですが、その人員確保が難しい。(職安及び求人誌を利用するも確保できない)
サービス業	貨物運送業	都城	志布志道路の早期完成。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	景況感が良かったり、悪かったり、短い期間に変化する。また、地域間、企業間で大きな価格差があるように思う。行政ももっとスリム化して、企業や個人の税負担を軽くして欲しい。中小企業の苦しみを本当に理解しているのかどうか疑問である。
サービス業	曳船事業ボートサービス	宮崎	フェリーの京浜航路の存続について、行政側も真剣に取り組むべきだと考えます。
サービス業	旅館業	宮崎	観光産業の将来を考えると、本県の場合、もっと総合的に研究し、官民一体となって取り組み、かつ新しい観光の開発と誘致活動を行うとともに、魅力のある街づくりをやらないと、現在のままでは取り残されていくのは必至となるでしょう。行政ににぞむことは観光の動向をよくみて、対応が遅れないように願いたいものです。
サービス業	ホテル業	延岡	宮崎市のように行政が積極的に誘致活動に取り組み施設の整備も同時進行で、各スポーツ、イベントの開催が出来るように環境を作る。市民の声にもっと耳を傾ける必要有。
サービス業	クリーニング業	延岡	相変わらず景況は厳しい。行政の景気対策等にも期待はしていない。合併問題か公共投資の減少等。地方にとって本当に厳しいときであるからこそ、延岡の浮揚を強いリーダーシップで引っ張るリーダーが必要ではないのか。
サービス業	飲食業	日向	世界中の危機的な状況の中、安心・安全の気分には遠く内需拡大も厳しいと思う。国家としてもすでに破産の状況にあり、抜本的な対策しかないが政治にも全く期待の持てない今日である。毎日の平穏を祈念しながら自分の回りを守っていくしか今はない。